

2024 年度 第 2 回一宮市男女共同参画推進懇話会 議事録（要旨）

日 時 2024 年 10 月 21 日（月）15：00～16：00

場 所 本庁舎 6 階 特別会議室

出席者 11 名

欠席者 1 名

傍聴者 なし

議 題

(1) 「性別を理由にモヤっとした言葉」について【資料 1】

(2) 来年度以降の男女共同参画関連事業について（意見交換）【資料 2】

【議事録】※発言順

議題 1 「性別を理由にモヤっとした言葉」について

・応募要件を満たした応募作品 130 点（小学生 95 点、中学生 35 点）の中から、啓発資材に掲載する作品を各委員に投票いただき、得票数の多い 12 点（小学生から 9 点、中学生から 3 点）を選定。選定された作品は一覧にして会議録と併せ送付する。

懇話会委員意見

・改めて応募作品を見ると、自身が小中学生時代に言われていた言葉が並んでいて、少しずつでも変わってほしいと感じる。

・募集要項を満たしておらず、除外された数はどのくらいか。来年度以降、もっと伝わりやすい表現にするなど、要綱を見直し考えてほしい。

・10 年、20 年前のことを思うと男性の「メイクやクリーム」など時代の変化を感じる言葉が並んでいる印象。

・大学等で「メイク教室」を開催することがあるが、男女同内容の教室を開催する。年齢が下がるほど、性別や LGBTQ についての区別がなく、ここ数年だけを見ても、世の中がすごい勢いで変わっていることを実感している。もっと区別のない社会になるといいと思う。

・学校行事の中でも、当たり前のように男女別で行っているものがある。体力的な問題もあるが、問題意識をもって振り返ると、見直せるものもあると感じる。気づきを共有して考えていければと思う。

・今回選ばれなかった応募作品も見てもらえる機会があるといいと思う。

啓発カレンダーにも掲載情報があるとよりいい。

事務局の回答

・小学生 12 点、中学生 5 点の合計 17 点を除外。
記載方法を検討する。

・ウェブサイトには選定対象となった 130 点すべての「モヤっとした言葉とその状況」を掲載する予定。

・小中学生の男の子が「男らしさを求められること」に対する拒否反応を強く感じた。 ・カレンダーの配布やウェブサイト掲載などの今後の予定は。	・カレンダーの作製を進め、例年と同様 12 月初めに各庁舎、出張所、図書館等で配布開始予定。作品のウェブサイト掲載については未定（準備ができ次第掲載）
---	---

議題 2 来年度以降の男女共同参画関連事業について（意見交換）

小中学生対象の作品募集事業のテーマや募集内容について、その他関連事業の提案やアイデアなど、ご意見をいただく。

懇話会委員意見	事務局の回答
・標語や川柳にすると、今の「モヤっとした言葉」より応募のハードルが上がると思う。 ・募集した後、改善策の提案など何かその先に繋がるような成果があるとよい。今回集まった言葉を活用して、親子で考えるワークショップを開催する、など。 ・「性別を理由にモヤっとした言葉」の大人を対象にしたものはあるか。あるとおもしろいのでは。知らぬ間に受け手側が傷つく恐れがあるため、こういったことを公表する場は大事だと思う。 ・男女共同参画の出前講座や事業所向け講座についてはどのように周知しているか。SNS などでも発信しているのか。 せっかくの事業を実施していても、対象者が欲しい情報にたどりつかないということもあるため、周知方法にも工夫が必要。 ・企業として（男女共同参画に）関連する講座が開催できても、企業の立場としてはリターンがないと動きづらいというのが現状。 ・企業は「ハラスメント」や「女性活躍」に関心が高いところも多いと思うので、「男女共同参画」と括ってし	・全国的には全年齢対象に募集している自治体も多いが、一宮市では大人対象には募集していない。 同じテーマで 3 年継続してきたため、対象や募集内容など、今後について改めて検討している。 ・事業所向け講座は広報紙とウェブサイトでお知らせしている。SNS では発信していない。市民向けの出前講座は、生涯学習課が取りまとめている「出前一聴」のメニューの一つになっているので、担当課がウェブサイトやちらし配布などにより周知を行っている。

まうより、具体的なテーマを提案するといったところからアプローチしてみるのも効果的ではないか。 ・ 女性差別撤廃条約選択議定書の批准について、法律や国の問題なので、自治体が動くのは難しいと思うが、情報としては知っておくことは大切。 ・ 子どもだけでなく、大人からも意見を出せる機会や仕組みがあるとよい。 ・ 子どもの意見に接する機会が少ない方たちにも（「性別を理由にモヤっとした言葉」を）見てもらえるような場があるとよい。 ・ 駅前やセミナー開催時などに、作品を掲示するなど始めやすいのでは。 ・ 「家庭の中での男女共同参画の小さな取組」を募集すると、共感を得られるものが集まると思う。 ・ 新しいことを始めるのもよいが、実施している事業、イベントや啓発を行った後、次の段階として何をするかを考えるのがよいと思う。 ・ 学校を通じた（男女共同参画の）講座や事業がもっと増えるとよい。	
---	--